



人権週間での取組・・・人権講話 12/5(月)

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」で始まる「世界人権宣言」が、1948（昭和23）年12月10日、パリで行われた国連総会で採択されたのを記念して、12月10日は「世界人権デー」となっております。日本では、この日に合わせ、12月4日から10日までを人権週間と定め、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地でいろいろな行事が行われます。

本校でも、この時期に合わせ、人権に視点を当てた授業実践を行ったり、人権ビデオを観たり、人権標語やポスターを作製したりし、人権についてじっくり考える取組を行っております。その中で、5日（月）には、全校朝会で、「人権を大事に」というお話をしました。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

人権講話から



今日は、皆さんに「人権」について考えてもらいます。

「人権」という言葉、ちょっと難しいですね。もう少し分かりやすく説明すると、「人権」とは「世界中のすべての人が生まれたときから持っている、人間らしく生きる権利、幸せになるための権利」ということです。

例えば、誰かが自分勝手な行動をしたら、嫌な思いをする人が必ずいますね。だからこそ、みなさんは、相手のことを考えて、思いやりの気持ちをもって

周りの人と過ごそうとしますね。それが「人権を大事にする」ということです。

では、授業中に、自分が楽しいからといって、おしゃべりをしたり、関係のないことで大きな声を出したりして邪魔をするのは、「人権を大事にしている」と言ってもいいでしょうか。そうですね。大事にしているとは言えません。

また、友達に悪口を言ったり、仲間はずれにしたり、差別やいじめたりするのはどうでしょう。これも、「人権を大事にしている」とは言えません。

理由もなく、ぶつたりけつたりするのはどうでしょうか。…そうです。「人権を大事にしている」とは言えません。

今週の土曜日である12月10日は、「世界人権デー」といいます。日本だけではなく、世界中で「人権を大事にしよう」「人権を守ろう」と定められた日です。そして、12月4日から10日までを日本では「人権週間」と定めています。

今週は、いつも以上に、授業の邪魔をしない、いじめや差別をしない、そして、手や足を使った暴力、言葉の暴力を「しない、させない、許さない」。そんな1週間にして、人権を大事にしていてもらいたと思います。

そして、もしも、自分の人権が大事にされていないと思ったら、1人で悩まないで、家族の人でも先生たちでもよいです。すぐに相談してください。

3年織物体験事業

12/5 (月)



「桐生を好きな子供」を
育てる事業



＜桐生織りの歴史を学ぶ＞

＜ループで絹織物を観察＞

この事業は、桐生市の児童生徒が、本市の伝統産業である絹織物について学び、「桐生を好きな子供」を育み、伝統文化の継承につなげるための桐生市教育委員会主催のものです。

そこで、この度桐生織伝統工芸士の泉太郎さん、高橋康郎さん、新井伊知郎さんと、織物協



＜織機で手織の体験＞



＜はた結びはこうやって＞

同組合の事務局後閑克美さんが来校し、桐生織物のお話をさせていただいたり、実際に織機で絹製品を織らせていただいたりしました。お話の中で、桐生市は1300年の織物の歴史がある町であるということ、桐生の織物は徳川家康と深いつながりがあり、徳川家に大事にされながら、絹織物の町として栄えていたことなどが分かり、桐生という町のすばらしさを改めて認識しました。また、「桐生織りの七つの技法」が経済産業大臣が指定する伝統的工芸品（全国222品）として認定されているそうです。群馬県では、伊勢崎の紺と桐生織の二つしか認定されていないそうです。

3年生の児童は、初めて見る織機を使って緊張しながらも皆真剣に織ったり、「織物を作るのにどのくらいの時間がかかりますか」など、いろいろな質問をしたりして有意義な時間を過ごしました。



2年人権教室 12/6(火)

桐生人権擁護協議会委員の窪寺藤枝さんと齋藤伸江さんが来校し、2年生に「人権を大切に」というお話をしてくださいました。

お話の中で、「どうしたの?」「大丈夫?」「いっしょに遊ぼう」という声かけは、友達をいい気持ちにさせたり、心を温かくさせたりして、「やさしい心」と「思いやりの心」の花が咲くよと語りかけてい



＜人権イメージキャラクター＞



＜悩んだらSOSミニレター＞

ました。

5年給食指導訪問 12/6(火)

この度、桐生市共同調理場より、栄養士岩沢由美さんが来校し、5年生に「バランスよく食事をしよう」というテーマで、食育指導をしていただきました。5年生の児童は、すでに家庭科で五大栄養素について学んでおり、本日の給食をそれらの栄養素に仲間分けすることで、バランスよく食べることの大切さに気づかせる指導をしていただきました。

